食料・農業・農村基本計画における目標・KPIの検討(案)

関係者の連携による持続的な食料システムの確立

食料安全保障の確保	目標(例)	KPI(例)
<p>○農業者が急減し、国内需要を賄うために必要な農地の1/3程度しかない中、人・農地等の資源をフル活用し食料自給力を確保する必要。</p> <p>食料の安定的な供給</p> <p>国内の農業生産の増大 + 安定的な輸入の確保 + 備蓄の確保</p>	<p>我が国の食料供給</p> <p>【国内の農業生産の増大(輸入依存度の減少)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食料自給率(飼料自給率を含む) <p>【安定的な輸入の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○輸入の安定化 <p>【備蓄の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食料の備蓄の確保(米・麦・大豆) <p>【食料自給力の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○サステイナブルな農業者人口の構成 	<ul style="list-style-type: none"> ・品目(青刈りととうもろこし等飼料作物を含む)ごとの生産量・輸出入量、単収、作付面積、国内消費仕向量(消費量・輸入量) ・15ha以上の個別経営体の米の生産コスト ・麦、大豆、加工・業務用野菜の国産切替量、国産小麦・大豆の保管数量 ・高温耐性や多収化などに資する品種の育成 ・輸入相手国の多様化状況(主要穀物別ウエイト付ハーフィンダール指数) ・輸入相手国において我が国輸入事業者が有する調達網への投資実行件数 ・二国間の政府間対話等の枠組数
<p>農業の持続的な発展</p> <p>食料自給力の確保(人、農地、技術、生産資材)</p>	<p>人</p> <ul style="list-style-type: none"> ○農地面積の確保 ○担い手への農地集積率 ○農業の成長産業化や国土強靱化に資する農業生産基盤の強化 <p>農地</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生産性向上につながる単収の向上 ○スマート農業技術を活用した面積の割合 <p>技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ○肥料資源の国内資源利用拡大 ○肥料原料の備蓄の確保 ○種苗の安定供給の確保 ○飼料の備蓄の確保(飼料穀物) <p>生産資材</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・(農業経営体数(すう勢値を本文に記載)) ・農業分野における生産年齢人口(15~64歳)のうち若年層(49歳以下)のシェア ・地域の方針策定に参画する女性農業者の割合 ・農用地区域内の農地面積目標の達成状況 ・販売金額に占める担い手のシェア ・大区画化等の基盤整備の実施地区における、担い手の米生産コストの労働費削減割合 ・農業水利施設の受益地において農業用水が確保されている農地面積の割合 ・防災対策を講じる優先度が高い防災重点農業用ため池における防災工事の着工割合 ・品目ごとの単収(米、麦、大豆等)、高温耐性や多収化などに資する品種の育成 ・スマート農業技術活用促進法の目標に掲げる技術の美用化割合 ・サービス事業者の経営体数、支援対象スタートアップの売上額 ・リン(窒素、カリ)の国内資源利用割合 ・りん安、塩化加里の備蓄状況 ・稲・麦・大豆の国産種子需要に対する供給率 ・飼料穀物の備蓄量
<p>輸出の促進(国内の食料需要減少下においても食料自給力を確保)</p>	<p>輸出の促進(輸出拡大等による「海外から稼ぐ力」の強化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○農林水産物・食品の輸出額 ○食品産業の海外展開による収益額 ○インバウンド(訪日外国人旅行者)による食関連消費額 	<ul style="list-style-type: none"> ・輸出重点品目ごとの輸出先国・地域別の輸出額、大規模に農畜産物の輸出に取り組む産地数 ・食料品製造業の現地法人の売上高 ・インバウンドによる一人当たり食関連消費額、訪日外国人旅行者数
<p>食品産業の発展合理的な価格形成</p>	<p>国民一人一人の食料安全保障・持続的な食料システムの確立</p> <p>【食品産業】【合理的な価格形成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食料システムの持続性の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・食品等の持続的な供給のための取組を行う食品事業者数 ・船舶、鉄道等による農水産品・食品の輸送の割合、中継共同物流拠点数 ・フードテックに関わる企業・団体数 ・ESGの取組のために資金投入を行った食品企業の割合 ・農業・食料関連産業の国内生産額(名目)
<p>国民一人一人が入手できる</p> <p>物理的アクセス + 経済的アクセス + 不測時のアクセス</p>	<p>【食品アクセス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食品アクセスの確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・(物理的アクセス)高齢者等を中心に食料品の購入や飲食に不便や苦勞を感じる者(いわゆる買物困難者)への対策の取組が行われている市町村割合 ・(経済的アクセス)経済的な食品アクセスの確保に取り組む市町村割合 ・(経済的アクセス)フードバンク活動を行う団体の食品取扱量
<p>環境と調和のとれた食料システムの確立</p>	<p>環境と調和のとれた食料システムの確立・多面的機能の発揮</p> <p>【環境と調和のとれた食料システムの確立】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○温室効果ガス削減量 	<ul style="list-style-type: none"> ・分野別の排出削減量・吸収量 ・バイオマス利用率 ・農林漁業循環経済の構築に取り組む地域数 ・みえるらべる商品が通年購入可能な店舗等がある都道府県数・J-クレジット認証量
<p>多面的機能の発揮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○化学農業：化学肥料の使用量低減 ○有機農業の取組拡大 ○事業系食品ロスの削減 <p>【多面的機能の発揮】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○農業生産活動の継続を通じた多面的機能の発揮 	<ul style="list-style-type: none"> ・化学農業使用量(リスク換算)・化学肥料使用量 ・有機農業の取組面積 ・有機農業の産地づくりに取り組む市町村数 ・事業系食品ロスの削減率 ・農地の保全に資する地域の共同活動により農業生産活動が維持される農用地面積
<p>農村の振興</p> <p>農業生産の基盤の整備・保全</p> <p>地域の共同活動の促進</p> <p>農村との関わりを持つ者の増加</p> <p>機会の創出 + 経済面の取組 + 生活面の取組</p> <p>中山間地域等の振興、鳥獣被害対策</p>	<p>農村の振興</p> <p>【地域の共同活動の促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域の共同活動の促進による農業生産活動の継続 <p>【多様な人材が農村に関わる機会の創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○農村関係人口の拡大がみられた市町村数 <p>【経済面の取組(所得向上と雇用創出)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○農山漁村地域において創出された付加価値額 <p>【生活面の取組(生活の利便性確保)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○農村関係人口の拡大の取組が移住・定住につながった事例のある市町村数 <p>【中山間地域等の振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中山間地域等の振興 <p>【鳥獣被害対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○鳥獣被害の防止 	<ul style="list-style-type: none"> ・農地の保全に資する地域の共同活動の体制強化に取り組む組織の割合 ・農村関係人口の増加に向けた取組が行われている市町村数 ・地域資源を活用して付加価値額向上に取り組む事業者の割合 ・農福連携等の取組主体数 ・農泊地域における宿泊等の売上額、農泊地域での年間延べ宿泊者数 ・中山間地域で9戸以下の集落を有する市町村のうち、農村RMOが活動している市町村の割合 ・中山間地域等における農地の保全に資する地域の共同活動の体制強化に取り組む組織の割合 ・野生鳥獣による農作物被害額の総産出額に対する割合、ジビエ利用量